

2024年初夏のつれづれ、素数など

荒田珈琲
新聞 
Vol. 80
2024.6.5(水)

あじさいがそこかしこで町を彩り、6月になりました。梅雨入りも間近です。雨降りの日も暑すぎる日も出歩くには不向きで、夏の珈琲屋は一年の中でも少し落ち着くのが常なのですが、今年はどうなることやら。道行く人やお客様の装いから四季の移ろいを感じ、そろそろ季節限定のメニューを考えているところです。旬の素材を取り入れると一年の巡りがやけに早く思えます。

今年はアメリカで「13年ゼミ」と「17年ゼミ」が同時に大量発生しているというニュースにも好奇心をくわげられました。彼らは通称「素数ゼミ」と呼ばれ天敵となる他の生き物たちとは重なりにくい周期で成虫になります。長年地中に潜って育つと満を持した初夏に地上へ現れます。13年と17年ごとで羽化あるということは最小公倍数の $13 \times 17 = 221$ 、あなわち221年ぶりに2種の周期が重なる今年が珍しい当たり年なのです。セミでびっしり埋め尽くされた木はだいたい怖れ一斉に鳴かれたら相当うるさいことでしょう。それでも正確な年数で出現するように進化していった生き物の賢さには自然界の不思議を感じずにはられません。



割れない?
ってホント!?

「素数」とは、その数自身と1でしか割れない自然数で 2・3・5・7・11・13・17... と続きます。ここで話を




無理やり珈琲に戻ると、この「割れない」にかけて素数をデザインにしたグラスやマグカップが商品化されているのです。マグカップに珈琲をたっぷり注ぎ、ぐらぐら並んだ素数の列を(ぼんやり眺めながら)啜れば「数字をつまみに時間がつぶせそう。ちょっとだけ欲しいな... (笑)」「割れない」けれど、手荒に扱えば「かける」し「割れます」のであからず「ご注意くださいネ

珈琲豆コラ
by 店主

ストローいる派?
いらぬ派?
の巻

アイスコーヒーがおいしい季節です。店では冷たいお飲み物にストローをつけてご提供していますが実は一番おいしい飲み方は「ストローなし」ではないかと思っています。グラスに直接口をつけて、ゴクリ! 珈琲の香りがダイレクトに味覚と嗅覚から堪能でき、口をおぼめず舌全体が旨みを受けとめることができるからです。プラスチックや紙の雑音も混ざりません。ストローはシロップやミルクを使う場合にマドラーの役目を果たしてくれまほし、あれば最後まで飲みやすいので... 😊 ならば最初の一口目はストローなしで味わってみても良いですね。お好みのスタイルでお試し&お楽しみください!!

~~~~~お知らせ~~~~~  
6月よりラストオーダーの時間を閉店1時間前としています。  
(営業時間は変わりません)  
方々にご利用の皆さまにはご不便をおかけして申し訳ございませんが、喫茶のご利用は   
平日17時、土日祝は18時までにご来店ください。まようどうぞよろしくお願ひします。